

千歳市市民協働推進会議議事録

会議名	市民協働推進会議（第8期 第3回）		
日時	令和3年9月3日（金） 18：30～19：10	会場	市役所第2庁舎 5・6会議室 各自宅等
出席者	委員：11人 事務局：3人		

議題	(1) ひと・まちづくり助成事業の選考審査 【事業名】：イロリトライ！スクール (2) その他
決定事項	(1)ひと・まちづくり助成事業選考審査 【事業名】：イロリトライ！スクール 補助金を交付すべき事業である旨市に報告する。なお、次の意見を附する。 単年度事業で終わらせず、事業の継続・発展について検討してほしい。 実施内容や事業成果をSNS等により多くの方に広く発信するとともに、認知度の向上に努めてほしい。

委員 申請者

<p>(1) ひと・まちづくり助成事業選考審査 【事業名】：イロリトライ！スクール</p> <p>< 質疑応答 ></p> <p>参加者の募集についてはチラシを活用すると記載されているが、市外からの参加者を募集するに当たり、具体的にどのように周知を行うのか</p> <p>チラシを市内公共施設に設置し配布するほか、イロイロリビングでSNSやホームページを作成しているので、それらを活用して市外の方にも周知していきたいと考えている。</p> <p>対象を中学生から24歳までとされているが、中学生を対象とするのは、年齢的に先を見据えてのことか。</p> <p>自分のこれから進む道を考えるときに、ひとつ大きな分岐になるのは高校を卒業し大学に進学するか就職するときだと考えるが、それよりも早い中学生の段階からそのような思いを持ってもらいたいと考えている。最近の中学生はインターネットを活用して社会活動について勉強しており、自分で会社を立ち上げる方が私の周りにもいるので、今回は中学生にも是非参加していただきたいと考えている。また、年齢層を幅広くしたのは、いろいろな世代の方々と価値観を共有しあって何かを学んでほしいと考えたためである。</p> <p>定員10名で全5回のワークショップを行うこととなっているが、事業開始までに1か月を切る中で参加者の確保については、すでに目途が立っているのか、それともこれから0から集めていくのか、状況を確認したい。また、応募がなかった場合にどうするのか。</p> <p>現時点ではつながりのある大学生や卒業して就職活動をされている方に声を掛けており、3名ほど参加していただけそうである。今後はチラシやSNSなどで周知を図っていくほか、講師の方にも呼びかけをお願いしていることから、10名は集められると思う。</p> <p>年齢に関しては下は高校生から、上は30歳くらいまで対象年齢を上げて良いのではないかと、個人的には感じた。</p>
--

私の感覚としては、私たちが思っている以上に中学生はいろんなことを考えているので、ちょっと面白そうだから参加してみようかという感覚で参加してもらい、それをきっかけにいろんな人と交流したり、コミュニティに入ったりすることで、何かひとつでも学びや気づきを持って帰っていただければと考えている。

単年度事業の申請となっているが、今後はどのようなプランを考えているか。

今回の事業を申請するに当たり、単年事業にするか複数年事業にするか迷ったところだが、まずは今回の事業を実施し、そこで出来たコミュニティを事業から独立させていけるようにしたいと考えている。来年度以降は、同じことをするのか、他のことをするのか現在考えているところで、まずは今回の事業を実施してから考えたいというのが本音である。

せっかく良い事業を提案していただいているので、1回で終わるのではなく、バージョンアップなり、ステップアップなりして続けていけるようにしていただきたいと感じた。

参加者から、やりたいことがいろいろと出てくると思うが、事業として実施するには場所・人・お金の要素が重要で、特にお金の面では中高生が事業を検討していく上では課題が多いので、そこをうまくサポートしていただきたい。

若い人が何かしようとするとき、大人がすべてを整えてあげるやり方もあるが、子供たちがお金のことについて勉強したり体験したりする機会は少ないので、お金を上手く使えばやりたいことを実現できることや、自分の思いが伝われば資金提供してくれる人がいることなどを、事業を通じて学んでもらいたいと考えている。

(2) その他について

次回開催は9月16日(木)を予定。